

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	豊見城市	代表者名	山川 仁
担当者部署	総務企画部	連絡先電話番号	098-850-0246
担当者役職	班長	担当者氏名	後間 大輔
住所	901-0292 沖縄県豊見城市宜保1-1-1		
連絡先E-mail			

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	高橋 邦夫
評価	大変よい
上記評価の理由(どのよう なところがよ かったか等詳 細に)	管理職(課長級)への自治体DXセミナーを実施していただいた。元自治体職員だったこともあり、自治体事務を熟知しており、わかりやすい説明であった。
アドバイザー への要望事項	今後とも、本市へ助言をいただきたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2022年2月14日	9時30分	15時00分	120	210
3-2. 派遣場所	会場名	豊見城市役所		最寄駅	奥武山駅
	所在地	豊見城市宜保1-1-1		最寄駅からの交通手段	バス又はタクシー
	派遣形態	講演(オンライン)			

4. 報告書に関してのAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	43人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	・自治体DX推進の取組事項について、管理職や職員へ浸透していない状況があり、全部署が同じ理解で取り組む必要がある。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	自治体DX研修会の実施により、全庁的に計画の周知強化を行い、DX取組みへの意識を持ち推進に取り組んでいきたい。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	DX推進について、管理職員(課長級)に対し研修を行ってもらい、DXとは何か、また先進自治体の取り組み紹介などを説明してもらった。(当初は、現地実施予定であったが、コロナウイルス感染拡大対策のため、オンラインでの開催となった。)	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	国が進める自治体DXの概要及び、市が取り組んでいくべき姿、業務改善や市民サービスについての内容を意識できたことは、大きな効果であったと考える。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
	管理職(課長)の意識改善が図られた。	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし。	

アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。）アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケートを提出した約6割が、研修内容について「とても満足」「満足」と答えており、理解度については95%が「とても理解できた」「理解できた」と回答があった。講師が元自治体職員の経験があることで共感でき、実例をふまえた話で理解しやすかったと思われる。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	DX推進の必要性を理解し、次年度以降のDXの推進を図る。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

